

2022 年春新入生向け加盟呼びかけ文

<1>日本民主青年同盟 (Democratic Youth League of Japan、略称・民青) は、15 歳から 30 歳まで約 1 万人の青年団体です。創立は 1923 年、日本の侵略戦争にも明確に反対の声をあげるなど、一貫して青年の願い実現のために活動してきました。地域・職場・学園ごとに班をつくり、草の根で小さなことから大きなことまで取り組んでいます。ロシアのウクライナ侵略にも全国各地でいち早く抗議行動をおこなってきました。活動のアドバイザーは日本共産党 (国会議員 23 名、党員約 27 万人、後援会員約 338 万人) です。ロシア、中国、アメリカなど大国の横暴と正面から対決してきた日本で唯一の政党なので、いまの国際情勢も鋭く分析できる頼もしい相談相手です。

<2>あなたが大学で学びたいことはなんですか。はっきりと決まっているひとにとっても、決まっていないひとにとっても、民青はうってつけの場所です。再生可能エネルギーのフィールドワーク、農業体験、国会見学ツアー、学費問題学習会、ジェンダー学習会、ウクライナ侵略についての学習会、テーマを決めたしゃべり場など、民青は、班ごとに多彩な学習・交流・行動をおこないます。それらを通じて、自分が学びたいことや専門分野と社会とのつながりが見えてきます。民青の多彩な活動は大学で学ぶ大きな後押しになるはずです。

<3>学びとともに、解決のために行動できるのが民青です。コロナ危機のもと、青年・学生の生活も深刻で「オンライン授業ばかりなのに学費が変わらないのはおかしい」「バイト前提で考えていたから、コロナでシフトが減らされて生活費が足りない」「一日一食で暮らしている」といった声が寄せられました。民青はそういった困難を支え解決するために、47 都道府県でのべ 10 万人が利用した食料支援活動、街頭労働生活相談、ネットカフェ利用者調査、大学当局・文科省・県庁への要請、総選挙にも青年の願い実現のために取り組みました。その結果、県としての食料支援活動がおこなわれたり、ネットカフェ利用者の人たちが無料で使えるホテルの用意がおこなわれたりしました。総選挙でも自公政権をあと少しのところまで追い詰め、政権交代へのプロセスが開始されました。社会は変わるし変えられる——コロナ危機で様々な問題が噴出し、ウクライナ侵略で世界の平和的秩序が問われ、日本も世界も大きな転換期を迎えているいまだからこそ、この視点で社会と向き合うことで、あなたの学びはよりいっそう意義を持つものとなるはずです。

<4>民青の学びと行動の基礎にあるのは、19 世紀にマルクスらが開拓した科学的社会主義と、その理論で日本社会を分析した日本共産党綱領の学習です。社会の構造と資本主義の仕組みを掴み、事実に基づき分析すれば、大きく変化しつつある世界の姿と問題解決の展望が見えてきます。

なぜ保健所は削減されてきたのか。なぜ非正規雇用が増大してきたのか。なぜ学費が上げられてきたのか。なぜ自民党は改憲にこだわるのか。なぜ北東アジアの外交は行き詰まるのか。これらの根本には「アメリカいいなり」と「大企業のもうけ最優先」という自民党政治の「二つの異常」があります。資本主義の枠内でも、この構造から抜け出しさえすれば、新自由主義的な政治を終わらせ、私たちにとって希望ある、新しい日本の政治を切り開くことができます。

一方で、拡大する貧富の格差、SARS や MERS そして新型コロナと繰り返されるパンデミック、抜本的解決の道筋が見えづらい気候危機、前進はあるものももっと早く進んでほしいジェンダー平等。これらの根本的解決が利潤第一の資本主義のもとで果たして可能なのか。世界でも日本でも資本主義そのものが問われ、その先の社会への模索が始まっています。

資本主義、そのもとでおこなわれている自民党政治の「二つの異常」、そして自民党政治を突き詰めた新自由主義的な政治——現代社会を明確に分析できる理論があるからこそ、民青での学びや行動は、解決の展望を示し、社会や政治を動かす力を持ちます。一緒に学び、力を合わせて政治を変えてみませんか。

<5>授業、バイト、サークル、人間関係、一人暮らし、進路、就活…。大学生生活の面白さも困難も、みんなで交流できるのが民青です。週 1 回の班会のほかに、OB・OG との交流会、鍋会、合宿など、空気を読まずに語れる場がたくさんあります。フィールドワークやスタディツアーも多彩に企画しています。前提知識は不要。同盟費は月 550 円 (減免制度あり)。新聞も発行しています。あなたの民青への加盟を心から呼びかけます。